



さわやか ジャーナル



湖南省
中学校生徒会
サミット2025を
開催しました

一般質問 16名

・小中学校のプール授業・施設と維持管理・民間委託について
・湖南省の都市計画について 永田 誠治 ◀P12

・南海トラフ地震に備える防災について
・使いやすい施設運営について
・子ども・若者の命を守る支援について
・図書館を中心としたまちづくりについて 赤祖父裕美 ◀P12

・窓口業務のデジタル化推進について
・身寄りのない高齢者支援について 細川ゆかり ◀P13

・生活保護について
・障がい児(者)施策について
・農業について 立入 善治 ◀P13

・戦後80年、平和への取り組みについて
・誰もが投票しやすい環境づくりのための取り組みについて
・公立図書館、学校図書館に関することについて
・甲賀市に大規模な産業廃棄物の処分場が計画されている問題について 松井 圭子 ◀P14

湖南省各部局等の業務課題とその対策について 森 淳 ◀P14

教員の資質向上と信頼構築に向けた対応について 澤田 厚 ◀P15

・発災時の初動について
・女性活躍推進について
・市広報誌について 副田 悦子 ◀P15

・公共空間および公共施設が「使われ活きる」ための利活用推進について
・若者の健やかな育ちの保障と若者にとって魅力ある地域づくりのための若者施策と居場所づくりについて 中土 翔太 ◀P16

本市における「外国人問題」に関する実情と今後の共生について 曾我部一帆 ◀P16

・子ども・若者の居場所について
・スポーツ施設・公園について 奥村 幹郎 ◀P17

湖南省活性化について 望月 卓 ◀P17

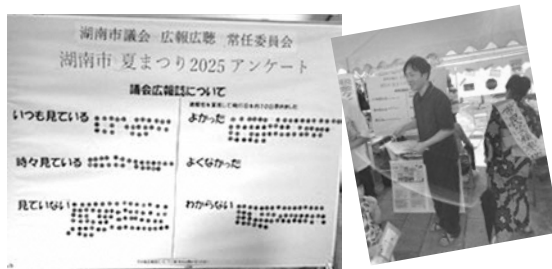
消防力の向上について 堀田 繁樹 ◀P18

美しく活気がある安全な街を！ 小林 義典 ◀P18

・多文化共生について
・公共施設の予約方法について
・公園整備について 川波 忠臣 ◀P19

・公営墓地における墓じまいについて
・市職員の労働環境について
・ふるさと納税について 松原 栄樹 ◀P19

湖南省夏まつりに出展しました。…………… ◀P11



9月定例会

ハイライト

議案

◀ P3 ~ 4

議案第60号～67号

令和6年度決算の認定

第60号 令和6年度湖南省一般会計歳入歳出決算の認定について

第61号 令和6年度湖南省国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

第62号 令和6年度湖南省国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算の認定について

第63号 令和6年度湖南省後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

第64号 令和6年度湖南省介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

第65号 令和6年度湖南省訪問看護ステーション事業特別会計決算の認定について

第66号 令和6年度湖南省水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

第67号 令和6年度湖南省下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

議案第68号～75号

人権擁護委員候補者の推薦 4件

教育委員会委員の任命 1件

固定資産評価審査委員の選任 3件

第76号

財産の取得について

GIGAスクールiPadパッケージ取得

256,532,474 円

議案第77号

字の区域および名称の変更について

菩提寺の一部を、菩提寺北七丁目に変更する
約80世帯、約230人が該当

議長コラム

議長 上野 顕介



9月定例会を終えて

定例会最終日の前日にアメリカの利下げが発表されました。一見すると円安に振れて輸入物価が下がりそうに思いますが、一方でこのことやトランプ大統領の関税政策によってアメリカは相当のインフレ加速が懸念されます。私たち日本国民にとってこれからの生活がどうなるのか心配されるなか、日本では与党の総裁選挙が目前です（原稿筆記当時）。どの総裁になったとしても輸出入対策を含めた国内物価高対応がせまられます。

そのような状況の中、湖南市においては県開催が44年ぶりとなる国スポ・障スポを成功裡に運営するため日夜職員や関係者が奮闘しています。私たち市議会も組織に関与する立場としてしっかりとサポートすることが責務です。

市議会は委員会中心主義といつて、課題別に委員会に分かれて深く議論することで成立しています。例えば庁舎整備検討特別委員会では、新庁舎の具体的な立地場所についての意見具申、議会改革推進特別委員会では、議員定数についての議論を全国の類似人口市と比較しながら検討を行ってきました。また、会派制議会運営検討特別委員会では、特定の会派が寡占による議会運営をしないようにという見地から、議会運営委員会の選出基準を見直しました。これは全国的にも先進的な議論ではないかと思えます。

定例会あいさつでも申し上げましたが、この9月定例会は湖南市議会の今任期最後の定例会でした。これまで積み上げた議論のうえに、改選後の市議会には課題解決に向けたリーダーシップを期待申し上げます。

9月議会定例会 議決結果

分類	議案名等	結果
補正予算	議案第54号 令和7年度湖南市国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 【歳入歳出】それぞれ6,758万円を追加 【補正後の額】54億4,961万1千円	○
	議案第55号 令和7年度湖南市国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号) 【歳入歳出】それぞれ 647万3千円を追加 【補正後の額】4億5,182万3千円	○
	議案第56号 令和7年度湖南市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 【歳入歳出】それぞれ2,670万2千円を追加 【補正後の額】13億8,421万円	○
	議案第57号 令和7年度湖南市介護保険特別会計補正予算(第1号) 【歳入歳出】それぞれ1億8,481万3千円を追加 【補正後の額】42億875万6千円	○
	議案第58号 令和7年度湖南市訪問看護ステーション事業特別会計補正予算(第1号) 【歳入歳出】それぞれ1,671万8千円を追加 【補正後の額】7,235万4千円	○
	議案第59号 令和7年度湖南市下水道事業会計補正予算(第1号) 【資本的支出】1,250万円追加 【補正後の額】19億894万9千円	○
	議案第60号 令和6年度湖南市一般会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 25,867,550,923円 歳出総額 25,143,597,663円 歳入歳出差引 723,953,260円を翌年度へ繰越	○
決算	議案第61号 令和6年度湖南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 5,322,714,186円 歳出総額 5,289,625,854円 歳入歳出差引 33,088,332円を翌年度へ繰越	○

分類	議案名等	結果
承認	承認第3号 専決処分の承認を求めることについて (専決第3号令和7年度湖南市一般会計補正予算(第3号)) 歳入歳出それぞれ1億2,026万9千円を追加し、補正後の額を270億6,678万2千円とするもの。	○
条例	議案第48号 湖南市訪問看護ステーション財政調整基金条例の制定について 訪問看護ステーション財政の調整を図り、健全な運営に資するため、基金の設置、管理および処分に必要な事項を定める条例を制定するもの。	○
	議案第49号 湖南市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 令和6年人事院勧告に基づく国家公務員の勤務条件の改正および民間労働法制に準じて、職員の仕事と生活の両立支援の拡充に関する事項の整備を行うため、所要の改正を行うもの。	○
	議案第50号 湖南市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 令和6年人事院勧告に基づく国家公務員の勤務条件の改正および民間労働法制に準じて、職員の仕事と生活の両立支援の拡充に関する事項の整備を行うため、所要の改正を行うもの。	○
	議案第51号 湖南市税条例の一部を改正する条例の制定について 地方税法の一部改正により、個人住民税の特定親族特別控除制度が創設されることに伴い、所要の改正を行うもの。	○
補正予算	議案第52号 湖南市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、所要の改正を行うもの。	○
	議案第53号 令和7年度湖南市一般会計補正予算(第4号) 【歳入歳出】それぞれ4億170万4千円を追加 【補正後の額】274億6,848万6千円	○

分類	議案名等	結果
その他	議案第68号～議案第71号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員の任期が令和7年12月31日に満了することに伴い、人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、議会に意見を求めるもの。	◎
	議案第72号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 教育委員会委員の任期が令和7年11月17日に満了することに伴い、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定に基づき、委員の任命について議会の同意を求めるもの。	◎
	議案第73号～議案第75号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 固定資産評価審査委員会委員の任期が令和7年11月17日に満了することに伴い、地方税法第423条第3項の規定に基づき、委員の選任について議会の同意を求めるもの。	◎
	議案第76号 財産の取得について 財産を取得することについて、地方自治法第96条第1項第8号および湖南省の議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、議会の議決を求めるもの。 【取得物件】 GIGAスクールiPadパッケージ 【取得価格】 256,532,474円(税込) 【契約の相手方】 株式会社ウチダビジネスソリューションズ	◎
	議案第77号 字の区域および名称の変更について 住居表示の実施に伴い、菩提寺の一部を、菩提寺北七丁目に変更する。 区域面積：約2.5ha、人口：約230人、世帯数：約80世帯	◎
意見書	意見書第4号 女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書	◎
議決議案	議決議案第5号 湖南省議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	◎
	議決議案第6号 湖南省議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	◎

分類	議案名等	結果
決算	議案第62号 令和6年度湖南省国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 489,688,665円 歳出総額 483,116,616円 歳入歳出差引 6,572,049円を翌年度へ繰越	◎
	議案第63号 令和6年度湖南省後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 1,344,809,954円 歳出総額 1,323,419,912円 歳入歳出差引 21,390,042円を翌年度へ繰越	◎
	議案第64号 令和6年度湖南省介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入総額 4,105,305,962円 歳出総額 3,956,115,589円 歳入歳出差引 149,190,373円を翌年度へ繰越	○
	議案第65号 令和6年度湖南省訪問看護ステーション事業特別会計決算の認定について 収益的収入総額 46,634,064円 収益的支出総額 43,251,929円 純利益 3,382,135円	◎
	議案第66号 令和6年度湖南省水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について 収益的収入総額 1,334,323,629円(税抜) 収益的支出総額 1,280,378,879円(税抜) 純利益 53,944,750円 資本的収入総額 237,509,300円(税込) 資本的支出総額 473,454,730円(税込) 収支不足額 235,945,430円 (消費税資本的収支調整額と過年度損益勘定留保資金で補填)	◎
	議案第67号 令和6年度湖南省下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について 収益的収入総額 1,656,667,507円(税抜) 収益的支出総額 1,569,401,624円(税抜) 純利益 87,265,883円 資本的収入総額 1,043,834,820円(税込) 資本的支出総額 1,712,398,825円(税込) 収支不足額 668,564,005円 (消費税資本的収支調整額と過年度及び当年度損益勘定留保資金で補填)	◎

※◎全会一致で可決・認定・可決及び認定・適任・同意 ○賛成多数で認定

令和7年9月湖南省議会定例会 提出案件(賛否)

○：賛成 ×：反対

議案番号	件名	きずな						日本共産党 湖南省議員団			湖南省 公明党 議員団		無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派
		森 淳	望 月 卓	堀 田 繁 樹	奥 村 幹 郎	中 土 翔 太	永 田 誠 治	松 井 圭 子	立 入 善 治	川 波 忠 臣	副 田 悦 子	細 川 ゆ かり	赤 祖 父 裕 美	松 原 栄 樹	加 藤 貞 一 郎	小 林 義 典	澤 田 厚	曾 我 部 一 帆
議案60号	令和6年度湖南省一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	欠	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案61号	令和6年度湖南省国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	欠	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議案64号	令和6年度湖南省介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	欠	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

令和6年度一般会計・特別会計・企業会計決算 8会計の決算をすべて認定

一般会計と4つの特別会計および3つの企業会計の各決算について、予算が計画的かつ効果的に執行されたか慎重に審査を行いました。審査にあたっては執行部との間で、多岐にわたって詳細な質疑応答が交わされました。活発な審議の結果、その内容を適正なものと認め、いずれの会計決算も認定しました。

(単位:円)

会 計 名				区 分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引残額	結果
一 般 会 計					25,867,550,923	25,143,597,663	723,953,260	○
特別会計	国民健康保険特別会計				5,322,714,186	5,289,625,854	33,088,332	○
	国民健康保険診療所特別会計				489,688,665	483,116,616	6,572,049	◎
	後期高齢者医療特別会計				1,344,809,954	1,323,419,912	21,390,042	◎
	介護保険特別会計				4,105,305,962	3,956,115,589	149,190,373	○
	(特 別 会 計 合 計)				11,262,518,767	11,052,277,971	210,240,796	◎
企業会計	訪問看護 ステーション 事業	収益的	収入	46,634,064				◎
			支出		43,251,929	3,382,135		
		資本的	収入	0				
			支出		0	0		
	水道事業	収益的	収入	1,450,052,921				◎
			支出		1,372,083,311	77,969,610		
		資本的	収入	237,509,300				
			支出		473,454,730	△ 235,945,430		
	下水道事業	収益的	収入	1,748,415,506				◎
			支出		1,617,377,497	131,038,009		
		資本的	収入	1,043,834,820				
			支出		1,712,398,825	△ 668,564,005		
合 計					41,656,516,301	41,414,441,926	242,074,375	

※◎全会一致で認定・可決及び認定 ○賛成多数で認定

本会議での議案の討論

●議案第60号

令和6年度湖南市一般会計歳入歳出決算の認定について

川波 忠臣議員

反対

予算を過大に計上した結果、不用額が多く発生しました。他事業への予算活用機会を逸し、市民サービス向上に活かせませんでした。積算精査・適正執行と補正予算で弾力運用を徹底すべきとして、認定に反対です。

赤祖父 裕美議員

賛成

実質収支額は、6億6,040万2,260円。基金総額は103億9,101万1,555円と以前より増えている。財政分析指数の4指標は、特段の問題はない。委員会での質疑を踏まえ、心豊かに暮らせる湖南市発展に願いを込めて賛成とします。

●議案第61号

令和6年度湖南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

立入 善治議員

反対

国保法の第1条は事業の健全な運営を確保し、もって社会保障及び国民保健の向上に寄与することとあります。社会保障の観点から、国が責務を果たすことが必至。国の負担を強く求めていただきたい。認定は否とします。

小林 義典議員

賛成

市民福祉の向上が重要であり、健康づくりの取り組みでは、特定検診、特定保健指導、保健師の訪問などにより生活習慣予防を実施している。将来にわたる国民皆保険の持続を支える重要な制度改革であり賛成とする。

●議案第64号

令和6年度湖南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

立入 善治議員

反対

施設入所待機者は特別養護老人ホームで118人、在宅待機者は55人。サービス付き高齢者住宅ができ、入所待機者は減少したとされているが、市として把握できていない。施設不足は事実。高齢化が進むことから改善を求めます。

副田 悦子議員

賛成

特養待機者はいるものの微減している現状であり、関係者が参加する認知症理解を広げる講座や多様な地域ケア会議を開催するなど、地域に寄り添った工夫が見られます。今後の重層的支援体制整備にむけて中核をなしていく地域包括支援センターを進めるべきだと考え認定に賛成します。

意見書第4号

女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書

昭和54年（1979年）、国連はあらゆる分野において女性に対する差別を撤廃し、女性に対して男性と平等の権利を保障するための「女性差別撤廃条約」を採択し、我が国は昭和60年（1985年）に同条約を批准した。

また、平成11年（1999年）には女性差別撤廃条約選択議定書が国連総会で採択され、翌年の平成12年（2000年）に発効された。個人通報制度等を定める同選択議定書を批准することにより、条約締結国は女性の人権侵害の救済と人権の保障をより強化することができるものと考えられ、現在、条約締結国189か国中115か国が批准しているものの、我が国は未だこれを批准していない。

令和2年（2020年）12月25日に閣議決定された第5次男女共同参画基本計画では、新型コロナウイルス感染症の拡大によって配偶者等からの暴力や性暴力の増加・深刻化の懸念や女性の雇用・所得への影響等が顕在化したとの認識が示されているが、女性差別撤廃条約選択議定書の批准はこのような現状を変える重要な第一歩となり得る。

同基本計画には「女子差別撤廃条約の選択議定書については、諸課題の整理を含め、早期締結について真剣な検討を進める」とされており、国は、この計画にのっとり、同選択議定書の批准に向けた検討を進めていく必要がある。

よって、国会および政府におかれては、個人通報制度受入れに当たっての我が国の司法制度や立法政策における課題や実施体制等の検討課題について議論を深め、女性差別撤廃条約選択議定書を早期に批准するよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

提出先：内閣総理大臣、法務大臣、外務大臣、内閣府特命担当大臣（男女共同参画）、衆議院議長、参議院議長

全会一致で可決

予算
常任委員会

付託案件 7件

議案第53号

主な質疑

問 市営住宅東寺団地債権回収業務の進捗状況について。

答 昨年の訴訟提起により裁判手続きを進めてきましたが、早期明け渡しを実現するため、放置自動車撤去費用等の実務的費用を補正予算として計上しました。

問 企業立地促進奨励金の申請漏れについて。

答 企業側で償却資産の一部に申請漏れがあり、市の担当者も見落としとしており、今年度分の申請時に漏れが判明したため、不足分を増額しました。

問 市民学習交流センターの外壁等改修工事

に必要な現場管理業務委託にかかる費用は。

答 当初予算に計上漏れがあり、改修工事費用内で振替えました。

問 不動産鑑定料の単価について。

答 見積もりによつて13万円と消費税の2箇所分を計上しました。

問 現在の財政調整基金の総額は。

答 令和7年度末現在高の見込みとして、41億952万円で、高松公園売却の16億円を含みます。

問 軽度中等度難聴児補聴器購入助成事業の具体的な補助内容は。

答 当初予算では、補聴器新規1台と修繕で2台分の予算を計上していましたが、予算上は耳掛け式の補聴器を想定しており、今回、20万円程度の軟骨伝導補聴器の申請が2台出てきたため、20万円の増額補正をしました。

全員の賛成で可決

議案第54号

問 国民健康保険システム改修について。

答 令和8年度から国が設置する制度に伴うシステム改修です。

問 基金の積み立てについて。

答 差額は、基金に積み上げますが、令和8年度末でゼロになる方向で保険税の設定をしています。

全員の賛成で可決

議案第55号

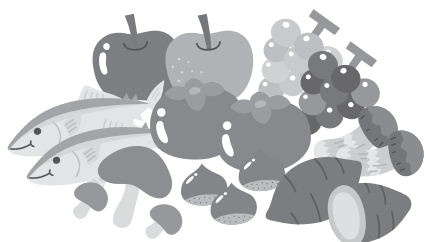
議案第56号

議案第57号

議案第58号

議案第59号

全員の賛成で可決



決算 常任委員会

付託案件 8件

議案第60号

問 一般会計の不用額は、平成28・29・30年度は約4億円台で推移、令和6年度は約17億円と高額、次年度の予算にどう反映するのか。

答 多額の不用額の発生は、他事業に活かせなかった財源の損失、当初予算の積算精度や適正な補正対応に努めます。

問 不納欠損額が前年度より減少、徴収の推移は。

答 現年度分を優先徴収、生活支援と連携した生活の立て直しを指導しています。

問 市民グラウンド売却分が、公共公益施設

等整備基金に積み立てされた中で、運用の区別をしているのか。

答 今後、施設改修計画の中で、区分して確実に管理します。

問 地域総合センターの子育て支援事業の利用と内容等の差は。

答 各館の子育て支援事業の内容は、各館に任せています。

問 照明LED化の5年リース事業内容と5年後はどうなるのか。

答 5年間で契約金額は1億2229万6400円、小学校7校分で設備工事込み。

令和6年度は、その内の6か月分の支払い。リース終了後は無償譲渡で、学校のものとなります。

問 債務負担行為を行わない理由とリースにした理由は。

答 長期継続契約の条

例で、物品の賃借は債務負担行為設定なしで

契約できるので適用しました。補助金を活用し単独工事をした場合と比較し、価額面や財政平準化も検討の上でリースに決定しました。

問 市費のスクールソーシャルワーカーの時給単価3580円の積算根拠、不登校児の増加に対して、十分な人数か。

答 県の単価に合わせた時給。市費1人、県費2人の配置で巡回。

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの専門職を増やすだけでは、解決できない状況、校内の体制強化が必要です。

問 学校司書の年間の勤務時間状況及び処遇改善は。

答 それぞれ学校司書の勤務時間が若干異なっています。湖南市教育委員会における特殊の考慮を要する会計年度任用職員の給与に

関する規則に基づき時給1050円。専門職の処遇改善を他市町の状況も見ながら検討します。

問 奨学資金給付事業の実績の推移は。

答 令和6年度は、36名の方に支給。令和5年度は27名、令和4年度は29名。令和7年度現時点で47名の方へ支給しています。中学校の卒業時に就学援助受給の家庭に案内文を送付しています。

問 天然記念物ウツクシマツ保全の事業に指定した寄付金より実績が少ない点と過去からの累積分を把握できているのか。

答 具体的な活用が進んでおらず、使い切れていない。寄付金の残額は財政調整基金に移しておらず、ウツクシマツ関連として把握できています。

問 市外への寄付の流れ

出は。

答 令和6年度は湖南市へのふるさと納税寄付額が2億3356万円に対し、他市へは、2億7747万3458円です。中間委託事業者を一本化し、

今後は戦略的に寄付拡大と関係人口創出に取り組む予定です。

問 会計年度任用職員の時給換算は。

答 最低賃金を基本とした計算ではなく、人事院勧告に基づく職員の給与を時給換算して決定しています。

問 道路維持修繕、舗装補修で約7963万円の執行、要望対応できたのか。

答 令和5年度増額補正し大規模な維持補修をした結果、令和6年度は基本的に要望対応ができ2000万円不用でした。

問 空き家バンク登録者は毎年わずか、空き

家総数は年々増加、対応は。

答 所有者や相続人調査により59件に通知・対応実績はあるが、粘り強い指導が必要です。

問 コミュニティバスの運行事業の今後について。

答 運転手不足と運転手の高齢化が深刻、平均年齢65・3歳。公共交通の根幹として維持し、デマンド交通やタクシー車両利用などの手段も検討。現在一部タクシー車両で代替運行。非正規ではなく正規ドライバーで安定的な体制を事業者へ求めていく。各課所管の移動支援を洗い出し庁内検討を重ねます。

問 国は将来的に重層的支援体制整備事業の補助金を縮小する可能性があるが、体制整備の面で整ったのか。

答 社協への委託による地域づくり事業の基

盤強化、各担当課の会計年度任用職員の配置、連携会議等で一定体制整備はできたが、既存制度の隙間を埋める支援体制までは達していません。

賛成多数で認定

議案第61号

問 被保険者、保険税収入ともに減少。一方で医療費は増加傾向。今後の課題は。

答 透析医療費が増加。市全体の健康づくりに対する啓発も重要です。

反対討論

令和9年度から県統一による保険税の値上げが、収納率を更に厳しくすることを懸念する。

社会保障として国にもっと財政支援をするよう求めるべきである。よってこの認定については否とします。

賛成討論

この制度そのものの実行は市が担っている。

市が独自で考えて手当をするのは別問題。母体となる県がきちんとすべきで、そうしないとこの制度は無くなる。よってこの認定については可とします。

賛成多数で認定

議案第62号

問 石部診療所、水戸診療所の年間患者数の減少については。

答 石部診療所は、整形外科の診療科目が減ったこと、水戸診療所はコロナ後の発熱外来の減少や長期投薬による診療回数の減少が要因です。

全員賛成で認定

議案第63号

全員賛成で認定

議案第64号

問 介護激励金の登録件数や周知状況については。

答 年々増加傾向にあり、居宅介護支援専門員、民生委員さんを通じて周知しています。

問 特別養護老人ホームの入所待機者数は。
答 令和6年4月現在、118人。

反対討論

複数申し込みをされているとはいえ待機者はおられ、在宅での待機者は55人、要介護3以上の方もおられる状況。サービス不足のため、この認定は否とします。

賛成討論

待機者がおられるということですが、市が施設を運営して常設しなくてはならないことなのかと疑問がある。介護保険制度は、この世の中で必要な制度であり、この認定に可とします。

賛成多数で認定

議案第65号

全員賛成で認定

議案第66号及び議案第67号

全員賛成で可決及び認定

事務事業評価

事業評価：空き家対策推進事業

少子高齢化等により空き家等の増加がもたらす諸問題について、空き家対策の推進に関する特別措置法に基づき、空き家サポートセンターあきやナクスを窓口に、空き家の所有者等に対し適正管理に係る助言・指導を行なっている。

- 令和6年度苦情・相談受付件数 67件そのうち59件の空き家に対し適正管理を市道・助言し43件（7割）が所有者・管理者により改善。
- 令和6年度 空き家バンク登録申請件数 2件
- 令和6年度 特定空き家認定 1件で除去 1件。

令和2年度～令和6年度まで15件認定で13件除却。

残り2件のうち、相続人調査中1件、除去手続き中1件



《委員会からの意見》

人口減少、少子高齢化に伴い、空き家は増加するのは、明らか。空き家対策事業の必要性は全員満点。しかし、有効性、達成度、効率性については、各

委員辛口の採点を付けました。

今後、空き家発生を予防する対策が必要というのは、共通意見でした。

「わが家」の終活ノートの作成、空き家に関する意識向上。関係機関との連携は欠かせない。

所有者、管理者等の理解・指導・援助には、粘り強い関わりが必要となってくる。固定資産税等の税の問題や市街化調整区域の見直し等は、国へ働きかけをしていただきたい。空き家の現況は、約9割が居住可能な空き家と多い（しかし市街化区域か市街化調整区域であるかの調査分析ができていない）

新築住宅でなく、空き家をリフォームして居住する方を選択するためのメリットが必要。移住定住施策や税優遇、福祉施策など担当課を超えて取り組む必要がある。また観光産業、居場所、まちづくり等と関連した幅広い事業に展開するためにも、他課や関係機関との連携が不可欠である。

総務 常任委員会

付託案件 4件

議案第49号

問 実際に制度について説明するのは、任命権者ではなく、職場の長になるのか。

答 任命権者に申し出ることでありますが、まずは、職場の上司に申し出るということになります。

全員賛成で可決

議案第50号

問 部分休業とは、基本的に有給ですか。

答 部分休業というのは無給になります。

全員賛成で可決

議案第51号

問 特定親族特別控除が新設されたことで、特定親族とは、地方税法第314条の2第1項第12号に規定されると書かれている内容は、

答 税金を納めている人に扶養家族がいる場合、一般控除や配偶者控除など、さまざまな控除が設けられています。大学生の年代の人は、特定特別控除の対象となります。

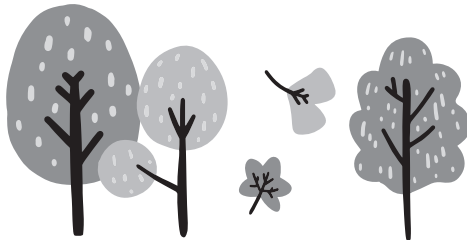
全員賛成で可決

議案第77号

問 現在、菩提寺という町名は他にもあるのか。

答 旧の在所の菩提寺という所があります。また、一部大字菩提寺で残っている地域もあります。

全員賛成で可決



福祉教育 常任委員会

付託案件 2件

議案第48号

問 基金の上限金額の目安はあるのか。

答 令和6年の決算において多額の剰余金が出ましたが、特別会計に置き換えることにより充当されることになりましたので、一旦基金に入れて、不足した場合に繰り入れる形にしています。貯める目的ではないので上限などもありません。

基金残高がなくなれば廃止するのか。

答 一定期間を見て必要になれば基金の廃止も考えられます。

全員賛成で可決

議案第76号

問 前回（令和2年度）より購入台数が増えているのは、

答 児童生徒数は減っていますが、児童生徒数の15%までの予備台数が国から認められており、湖南市では5%を見込んで購入しました。よって、前は各校2台の予備数でしたが、今回は各クラス1台ぐらいが見込めます。

どのくらいの修理台数があったのか。

答 令和3年度28台、令和4年度31台、令和5年度58台、令和6年度71台。老朽化してくと修理台数も増えま

すし、今後持ち帰りが進むと故障率もあがると考えています。

全員賛成で可決

議案第52号

湖南市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成で可決



産業経済 常任委員会

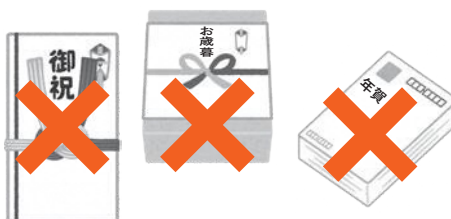
付託案件 1件

議案第52号

湖南市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

また、議員に対し、寄附を出すように勧誘すること法律で禁止されています。

議員の寄附行為の禁止について
公職選挙法の規定により、議員が不特定多数の市民に年賀状を出すことや、歳暮・年賀などの物を送る寄附、地域への催し物へ寸志などを出すことは禁止されています。
また、議員に対し、寄附を出すように勧誘すること法律で禁止されています。



庁舎整備検討特別委員会

委員長報告

庁舎整備検討特別委員会は、令和6年9月議会において設置され、同年8月28日に第1回を開催以来、令和7年9月までに6回の委員会を開催し調査を重ねてきました。

これまでの市の取り組みは、令和4年、東庁舎耐震診断の結果がIS値0.22で倒壊または崩壊する危険性が高いことが判明したことから、令和5年度から令和6年度で庁舎整備基本計画が策定されました。その間、市民アンケートや市民との懇談会等の実施により市民の声を聞きながら、

庁舎整備の方向性が検討されてきましたが、令和7年3月議会において市長から新築建て替えの方針が示されたところです。

令和6年12月19日開催の第2回委員会では、南海トラフ巨大地震等の災害に備え、早急な庁舎整備が必要ということ、全面建て替えや現庁舎耐震補強も含めて検討し、東庁舎周辺での新築・建て替えが耐震性能・執務スペースへの影響・工期・業務継続・30年間のライフサイクルコストにおいて適しているとの説明がありました。

令和7年3月18日開催の第3回委員会では、2か年をかけた庁舎整備基本計画が策定され、その概要の説明がありました。庁舎整備については新築・建て替えが最適であり、行政機能は東庁舎周辺に可能な限り集約し、財政負担についてはライフサイクルコストの低減に努めたいとの説明がありました。

な限り、早期に建設場所を定め、令和9年度から早期に事業を進めたいとの答弁がありました。6月19日に開催された第4回委員会では、令和元年度に策定した実施設計の一部活用で有利な起債である市町村役場機能緊急保全事業債の適用が可能となったとの報告がありました。委員からは、最大限有利な財源の確保に努めること、今後のスケジュールの明示、市内産品や県内産などの活用、執務室の適正配置などの意見が出されました。

7月30日に開催された第5回委員会では、新庁舎本体89億円、設計費4億円、合計93億円との試算で庁舎整備基本計画案A案・B案・C案の3案について詳細説明の後、各委員から質疑があり、新庁舎位置選定の視点として南海トラフ地震の発生も予測される中で、早期の移転時期、財源計画、環境負荷、物価高騰リスクや周辺施設の利活用などを総合的に判断して、C案（現東庁舎南側駐車場）が最適であるとの意見が出され、全会一致で確認されました。

9月11日に開催された第6回委員会では、執行部から新庁舎整備コンセプトについて説明がありました。今後の新庁舎実施設計に向けて委員を含む全議員からの意見について審査いたしました。庁舎内の議会スペースについての利便性や傍聴システムの工夫、執務スペースと市民スペースの区分けの明示、立体駐車場など庁舎敷地の有効活用、また、周辺関連施設の在り方について意見が出されました。委員からの意見については、可能な限り反映させていくとともに、周辺施設の整備についても関係部署と連携を図りながら、進めていきたいと答弁がありました。

庁舎整備検討特別委員会は6回の委員会、2回の先進地視察を実施するなど調査・検討を重ねてきましたが、新築・建て替えによる庁舎整備についての確かな方向性が確認され、一定の役割を果たすことができたことから、ここに庁舎整備検討特別委員会の審査を終了いたします。

中学校生徒会サミット2025

議会では、湖南省議会基本条例制定前の平成24年5月に4中学校区域を対象とした試行的な議会報告会の開催を皮切りに、各常任委員会の所管団体や高校生を対象とするなど、広報(情報発信)と広聴(意見聴取)の場づくりを重ねてきました。

昨年度は、その取組の一環として教育長はじめ先生方のご協力を得て「湖南省中学校生徒会サミット2024」を実施し、4校の生徒会と議員がグループに分かれて意見聴取を実施。いただいた意見は、議会の「チャレンジシステム」(意見を委員会報告や提言等の形で市政に反映する仕組み)を活用し、総務・福祉教育・産業経済の各常任委員会の連合審査で共有・協議しました。

今年度から、議会の広報・広聴機能の強化を目的に新設された「広報広聴常任委員会」が市民との意見交換会を所管することとなり、その一環として、中学校生徒会サミットも昨年に引き続き、実施する運びとなりました。

今年の中学校生徒会サミットは、昨年度の反省を踏まえた改善を行い、議論に充てる時間を昨年より多く確保しました。ファシリテーターは、昨年は教育委員会からの配置でしたが、今年度は教育委員会2人に加えて議員2人も担当し、進行と記録の双方を強化しました。進行方法は、付箋と模造紙を用いたワークシopp形式で、出された意見をその場で可視化し、整理・深掘りを行いました。ファシリテーションにあたっては「大人が結論を誘導せず、中学生の主體的な意見を引き出す」「否定せずに問いかけで思考を支える」「可視化で合意点と論点を整理する」といった基本姿勢を共有し、中学生が安心して発言できる場づくりを心掛けました。

今年の議論では、大きく次の4点が整理されました。

① **交流・つながり**
学校間交流(合同行事等)の充実、地域・世代間交流の推進、生徒会同士のネットワーク形成。

② **居場所(遊び・学び)**
図書館やまちづくりセンター等での自習・調べ物環境、屋内外の遊び・スポーツの場、若者向けフリースペースの確保、また中学生が自ら企画する機会の整備。

③ **交通・移動**
JR草津線の利便性向上、地域施設へアクセスしやすいバス路線、通学を含む移動の安心確保。

④ **魅力・活性化**
名物・特産の発信、若者に人気の施設・店舗、駅前やまちなかのにぎわいづくり。

これらに関し、行政の役割としては、交流を恒常化する枠組みや助成、施設のWiFi・電源・椅子等の環境整備、イベント申請の簡素化と伴走支援、交通事業者への働きかけや中高生向けアンケートの実施、プロモーション施策との連携などが挙げられました。

今後、いただいた意見は昨年度同様にチャレンジシステムで扱うこととなり、① **交流・つながり** および② **居場所(遊び・学び)**については、総務・福祉教育の各常任委員会、③ **交通・移動**および④ **魅力・活性化**については、産業経済常任委員会において議論や調査、検討を深めてまいります。

併せて、昨年度は実施できなかった取組として、今年度は年度中に議員が各中学校を訪問し、いただいた意見の取り扱いについて途中経過を報告することを計画しています。

広報広聴常任委員会では、中学校生徒会サミットの成果と課題を次年度に引き継ぎ、継続的な開催に向けて改善していきます。湖南省議会では、

今後このような広聴の機会を通じ、いただいた声を「聞いて終わり」にせず、政策サイクルに乗せることにより、市政への反映につなげてまいります。

アンケート広聴を実施しました

湖南省夏まつりにて、湖南省議会初めての試みのアンケート広聴を実施しました。

実施内容と集計結果は、以下の通りです。

設問① 回答数121

議会広報紙を

いつも見ている

時々見ている

見ていない

設問② 回答数111

広報紙の発行日を10日早め21日としたが

良かった

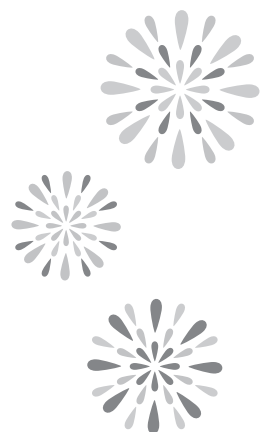
良くなかった

わからない

の結果となりました。

また、年齢層別資料も取らせていただきました。結果については、今後の広報紙発行方法や、読者増につなげる貴重な資料とさせていただきます。

ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



一般質問



プール授業・維持管理 民間委託・都市計画



会派 きずな ● 永田 誠治 議員

プール授業と維持管理・民間委託について

問 年に一度機械設備を業者委託し、シーズン前の清掃、用具の点検、授業が始まれば児童の健康管理、天候、水温、水位、水質、薬剤投入などの作業を毎日行う先生方の負担軽減と施設の維持管理費削減のためにも新たな方向に進むべきではないか。

答 今後、維持管理費の削減のためにも水泳学習の内容について、他市町の取組状況など参考に検討の時期と認識しています。

民間委託、公共施設利用について

答 民間施設の利用、複数校で1プールの共同利用などを視野に入れた検討の時期がきていると認識しているところです。

都市計画について

問 定住できる住み良

環境について

答 湖南市の未来を築くためには市民や関連団体と協力し持続可能で安心な環境を整えることが必要です。子育て支援やシニアケアの充実、地域の防災力向上、公共交通の活性化、観光資源の積極的な活用、市が市民の声を反映し笑顔を生み出し、暮らしやすい環境を築いていきたいと考えております。

今後のまちづくりインフラの維持管理について

答 インフラ維持は大変重要な課題と認識しています。所管する管理施設については、湖南市橋梁長寿命化修繕計画や舗装修繕計画、公園施設長寿命化計画などに基づいて、将来にわたり安全な社会基盤を確保してまいります。



市民の意見を市政に繋げて



無会派 ● 赤祖父 裕美 議員

南海トラフ地震に備える防災について

問 6月21日、宮の森受水場故障から見えたことおよび情報伝達について。

答 防災行政無線のエリア使用の利用も検討し、自動音声サービス、防災メール配信サービス、公式アプリ「こなんいろ」など重層的に情報伝達をしていきます。

情報発信が遅れたことについて

答 情報発信のタイミング判断の見極めが非常に難しい一面もありますが、出来るだけ早い段階で情報共有を行うことの重要性を熟思し、地域防災力と共に連携しながら業務にあたっていきます。

問 冷蔵庫に貼れるような、自動音声サービス7215040が書かれたマグネットを作成してはどうですか。

答 今は予定をしてい

ません。「自助」の重要性を防災出前講座等で引き続き伝えてまいります。

使いやすい施設運営について

問 総合体育館の空調設置について。

答 将来的に検討していきます。

甲西文化ホールの高額な使用料について

答 利用実態や利用者のご意見を丁寧に聞きながら文化芸術の振興や市民の文化活動の促進に資する施設運営に取り組んでいきます。

サンライフ甲西、まちづくりセンターでの飲食禁止について

答 サンライフ甲西は、飲食を主たる目的としていない場合は、飲食も許可しています。まちづくりセンターは、料金設定の見直しも含め利用者のニーズを把握して今後検討していきます。

一般質問



DXの推進で持続可能なまちづくりを！



湖南市公明党議員団 ● 細川 ゆかり 議員

窓口業務のデジタル化推進について

問 書かない窓口のタブレットや証明書発行機器の操作の支援は。

答 書かない窓口導入後当分の間は、職員が聞き取りながら申請を作成するなど、体制整備が必要です。東庁舎設置の証明書発行機器は、操作支援を行う担当者の配置を検討中です。

問 職員のスキルアップを含め、BPR育成事業への参画について。

答 能力アップの一つの手段と考え、他自治体へ派遣できるような知見と知識を備えたアドバイザーの育成にも取り組めます。

問 デジタル人材育成の観点から、デジタル庁が運営する「デジタル改革共創プラットフォーム」への参加は。

答 現在、参加職員はいません。職員一人ひとりのスキルアップや能力向上が重要であるため、議員の提案も参考にし、デジタル人材の育成も進めます。

身寄りのない高齢者支援について

問 身元保証・日常生活支援・死後事務処理の支援について。

答 相談者の状況などを伺ったうえで、市の関係課、地域包括支援センター、ケアマネなどの支援者、甲賀地域の権利擁護支援団体が集まり、支援対象者の希望や状況などに応じて先の見通しを考えた支援を検討し、実施。内容や状況により、成年後見制度の利用も説明。その他「高齢者・障がい者のための無料法律相談」や「高齢者・障がい者のためのなんでも相談会」を紹介。相談会は「広報こなん」に日程を掲載しています。



いのちを守る最後の砦を崩した自公政権



日本共産党湖南市議員団 ● 立入 善治 議員

生活保護費の引き下げは憲法違反

問 憲法25条が保障する生存権とは。

答 「すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と規定し、第2項で「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障の向上に努めなければならない」。国民には生存権があり、国家には生活保障の義務があるという意であることを認識しています。

問 保護費の引き下げが憲法違反とした最高裁統一判断について。

答 厚労省は、最高裁の判決を受け、「専門委員会」を設置、今後の在り方について、専門家による審議が行われると通知。県からの情報はここまでとなっています。審議の動向を注視しつつ、国が決

定した方針や内容に基づき対応します。

発達支援システムの現状について

問 発達保障の観点から専門的知見、経験は備わっているのか。

答 発達支援システムについては、資格がそれぞれ異なり、発達に関して専門的な知識を持った者が配属、それぞれの役割を分担、ケースや状況に応じて、それぞれの専門性からの違った視点で意見を出し合うなど質の高い支援に繋がっています。

米の増産について

問 米の増産計画は。

答 需要に応じた作付け。関係団体と協議・調整を図ります。

問 湖南市の特産品について。

答 「下田なす」はブランド化に向けた取組が加速。生産者との連携に努めます。

一般質問



戦後80年、核兵器を廃絶し 恒久平和の確立を



日本共産党湖南省議員団 ●松井 けい子 議員

- 問** 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める市長の見解は。
- 答** 他の自治体と連携し、内閣総理大臣に対し、核兵器禁止条約に署名・批准するよう要請してまいります。
- 問** 平和学習の成果は。
- 答** 戦争や平和の学習が、命の大切さを学び、暴力や差別のない社会実現のために今後も続けていきます。
- 投票しやすい環境作り**
- 問** 郵便投票の対象者と手続きの周知は。
- 答** 身体に重度の障害がある方や要介護5の方は、申請し郵便投票証明書の交付を事前に選挙管理委員会から受領するという手続きの周知が不十分でした。
- コミュニケーションボードは、投票所の分かりやすい場所に置かれていましたか。**
- 答** 配置場所や方法の統一ルールを定めています。

- なかったので環境に差があった可能性があり、事務マニュアルや説明会で周知し利用率が高まるよう進めます。
- 甲西図書館リニューアル構想の進捗状況**
- | | |
|-------|------------|
| 4月 | 市役所職員アンケート |
| 6月 | タウンミーティング |
| 9月 | 市民アンケート |
| 10月以降 | ワークショップ等 |
| 3月末 | 構想策定完了 |
- 学校司書の役割と処遇**
- 答** 専門的職務を果たす役割は、重要であると認識しているが、直ちに大幅な改善は困難な状況です。
- | | 全校(校) | 配置(校) | 学校司書実人数(人) | 専任(人) | 兼任(人) |
|-----|-------|-------|------------|-------|-------|
| 湖南省 | 13 | 13 | 10 | 7 | 3 |
| 草津市 | 20 | 20 | 9 | 2 | 7 |
| 甲賀市 | 27 | 27 | 9 | 0 | 9 |
| 栗東市 | 12 | 12 | 3 | 0 | 3 |
| 野洲市 | 9 | 2 | 1 | 0 | 1 |
| 守山市 | 13 | 13 | 7 | 0 | 7 |
- 土山に建設予定の産業廃棄物処分場計画**
- 問** 厳しい許可要件を満たさない場合は、県が不許可します。



各部局の課題と対策を問う！



会派 きずな ●森 すなお 議員

- 問** 総合政策部等6部と教育委員会、出納局及び上下水道事業所の課題と対策のうち特に次の課題を聞きます。
- 図書館**
- 本市は、甲西図書館の一館体制を基本としつつ、様々な市民の声を聴く中で、(仮称)石部小規模多機能自治センターの建設に向けて、図書館機能の併設についての検討が必要です。市の見解は。
- 答** 石部図書館を、甲西図書館に集約するとの方向性を示していますが、今後、(仮称)石部小規模多機能自治センター建設に伴い、提供する図書サービスや活かすべき機能など、市民の利用しやすい施設にするべく関連部局と協議・連携し、市民の声を聴いて進めます。
- ごみステーション**
- 問** ごみステーションの新設等の行政区自治交付金は、市の負担を明確にし、市民の公平性を担保するため補助金に移行すべきでは。
- 答** 行政区自治交付金の財源内訳が不明確であり、地域代表者会議で意見を聞き、環境経済部と連携しながら整理・検討し、(消火栓ボックスなど)他の交付金対象事業の見直しも含めて検討します。
- 交通対策室**
- 問** 公共交通は、専門課を設置して取り組むべきでは。
- 答** 今後の施策展開や取組状況に応じ、次年度以降の組織体制の見直しで検討します。
- 縦割り行政**
- 問** 縦割り行政の弊害を解消すべきでは。
- 答** 縦割り行政を払拭し、市民から求められる市役所づくりをめざします。

一般質問



教員の資質向上と 信頼構築に向けた対応



無会派 ● 澤田 厚 議員

現状と対応体制について

問 近年に発生した教員による不祥事件数は、

答 令和元年度末から

2年度にかけて発生した個人情報紛失とその報告の遅れという事案がございました。それ以降、不祥事案は本市では発生しておりません。

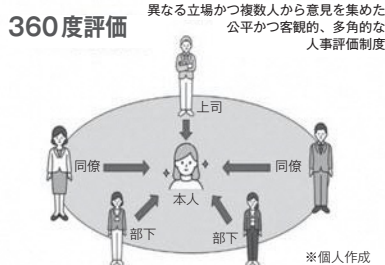
再発防止と研修強化について

問 教職員の過重労働問題についての現状認識と対策は。

答 大きな課題であると認識しています。市内教職員の超過勤務の状況については、校務支援システムにおいて把握しており、近年のさまざまな取組により縮減傾向であると把握しています。市外から転任してきた教職員の多くが、「湖南市は働きやすい」と答えていることから、取組が

徐々に成果となって表れているものと考えます。

人事制度と評価の見直し



問 複数者の視点を取り入れた360度評価等の多面的な評価制度の導入は。

答 県の人事評価の評価者研修で一次評価者（教頭）、二次評価者（校長）の力量を高めながら、法に基づいた人事評価を実施し、教職員の資質向上、ならびに学校組織の目標達成を目指してまいりますので、新たな評価制度の導入については現在考えておりません。



多様な働き方ができる 女性活躍推進を



湖南市公明党議員団 ● 副田 悦子 議員

女性活躍推進について

(1) 継続して働きやすくするために

問 休暇について

答 職員が安心して継続的に勤務できるよう各種休暇制度を整備しています。生理休暇取得実績は増えつつあり、育児休暇においては女性男性問わず100%の取得率です。

問 時短勤務について

答 子を養育する職員が継続して勤務できるよう「育児短時間勤務」「部分休業」などの制度を整備し、職員の福祉の向上と公務の円滑な遂行の両立を図っています。

問 職場環境について

答 女性活躍を推進していくためには、制度整備にとどまらず、男性職員が妊娠・出産・育児について理解を深め、妊娠期や子育て期の女性を積極的にサポートしていくことが不可欠

です。男女を問わず誰もが働きやすく、互いに支え合える風通しのよい職場づくりが重要だと考えます。各所属内においても日頃から職場内のコミュニケーションを密にし休暇など取得しやすい雰囲気

を醸成するよう取り組んでいきます。

(2) 多様な働き方を実現するために

問 就労支援について

答 事業者からのニーズに応え、フオークリフト運転技能取得講習会をはじめビジネスマナースキルアップ研修などを開催しています。これからの多様な働き方ができるよう、またDX時代に対応した女性の人材育成につながる講習会などを計画するとともに「滋賀マザーズジョブステーション」などの関係機関とも連携をはかり取り組んでいきます。



公共空間活用と若者の居場所から考える協働



会派 きずな ● 中土 翔太 議員

公共空間が「使われ活きる」ための利活用

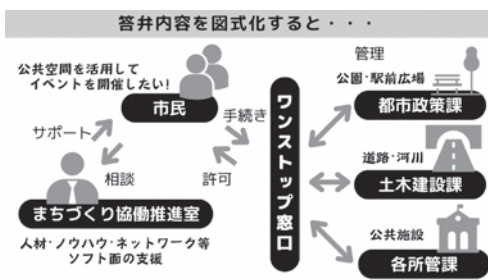
問 三雲駅前市有地を
実証実験・社会実験の
場として活用しては。

答 有益であり、実現
に向け進めたいです。

問 行政によるソフト
面での支援が必要では。

答 人材・ノウハウ・
ネットワークなどへの
サポートについて、ま

ちづくり協働推進室を
中心に支援しています。



若者施策と若者の居場所づくりについて

問 SDGsカレッジ
の目的である若者のた

まり場の展望は。

答 必要性を強く認識
し、検討を重ねていき
ます。

問 福祉施策としての
若者の居場所づくりは。

答 役割・必要性は認
識しており、地域等と
ともに取り組む必要が
あると考えています。

問 福祉・教育・協働の
場としてのユースセン
ター設置の見解は。

答 文化ホールや図書
館のリニューアル、庁
舎の建て替えを進める
中で検討します。

SDGsカレッジ 総合政策部
3か年事業の終了後、拠点と
なる若者のたまり場の設置に
向け、取り組んでまいりたい。
(令和4年6月定例会 答井)

こども計画 こども未来応援部
物理的な居場所だけではなく、
心理的にも居場所がないと
感じる若者の意見
【重点課題と取組】
こども・若者の居場所づくり
湖南市こども計画 基本方針4
青年期における若者への支援

2つを横断的に結びつけユースセンターを設置しては？



「外国人問題」の実情と今後の共生について



無会派 ● 曽我部 一帆 議員

問 SNS等で「外国
人が優遇されている」

「外国人は税金を払っ
ていない」「外国人が増
えて治安が悪化してい

る」などといった主張
がある。事実に基づか
ないものやデマも多く、

これらの主張に関する
本市の実情について問
う。

答 市立診療所におけ
る医療費の未払いは無
く(令和6年度決算)、

また外国籍市民に対す
る優遇措置はありません。
市管理の介護保険

料等その他社会保障制
度の利用に関しては、
国籍にかかわらず法令

や国などから示される
基準に則り業務を実施
しており、日常の業務

におきましても、悪質
な事例等は聞いていな
いところです。

ごみ出しの問題、夜
間の騒音などのトラブ
ルについては各区から
話を聞くこともありま

すが、深刻なトラブル
への発展、問題が長期
化しているといった事
案は把握しておりませ
ん。

市町別の外国人犯罪
統計は公表されておら
ず、外国人比率の高さ
と犯罪件数に相関があ
るとは確認できない状
況ですが、県全体では
令和6年の刑法犯認知
件数が8,147件と
前年比で増加傾向にあ
る一方、外国人の住民
登録が県内で最も高い
比率となっている本市
において、254件と
前年比で-5.9%となっ
ております。

◎いわゆる「外国人問
題」について、本市
においても事実に基づ
かないデマや誤解
を含むことを確認し、
他には多文化共生社
会の実現に向けた取
組などについて質問
しました。



子ども・若者の居場所について



会派 きずな ● 奥村 幹郎 議員

問 まちづくりセンター等公共施設の活用について

答 各地域まちづくり協議会を中心に、放課後や夏休みの居場所として学びや体験活動を通じて子どもたちを見守る取組を進めていただいており、ロビーを開放して学生の自主学習スペースとして活用されているところもあります。今後は学習支援だけではなく、地域の大人との交流やボランティア活動など多世代のつながりを育む居場所づくりへと発展させていきたいと考えております。

問 全天候型遊び場について

答 「湖南市公園等ストック再編基本計画」においては全天候型の遊び場となる施設整備は計画していません。現在候補となる既

存の公共施設の選定を進めるとともに、先進自治体の調査を進めているところで、乳児期↓幼児期↓児童期の各年齢にに応じて遊びのレベルを変化させ、子どもたち一人ひとりの成長に合わせた遊び空間について検討しているところではあります。

三雲駅南側市有地の活用について

答 様々な事業者と協議を重ねてまいりましたが、事業化はむずかしい状況となつています。しかしながら使われ活きる公共空間を市民と協働により作り上げることは、今後の賑わいを創出する上で重要な視点と捉えており、まずは実験的な運用を目指して地元の皆様と活用策について知見を集めてまいりたいです。



湖南市活性化について



会派 きずな ● 望月 卓 議員

問 街路樹の「倒木予知パトロール」は。

答 専門的な診断による内部腐朽や根系の弱体化を把握することが不可欠であり、目視点検だけでは限界がある。通常のパトロールを基本に、必要に応じて樹木医等による診断を行い、効果的な安全管理を進めてまいります。



問 今後のウツクシマツの取組について。

答 「現地での育成」については、自生地が有する本質的価値の維持へ、『国指定天然記念物 平松のウツクシマツ自生地保存活用計画』をもとに、環境条件の整備と維持管理に重点を置いた保全施策を推進。病害虫対策は、空中散布による薬剤散

布や下草刈り、落葉かきを実施。獣害対策は、シカなどによる苗木や若木への被害を防ぐため、柵を設置し、天然更新の妨げとなる要因の軽減を図って行きます。

「観光資源」の一環に、JRハイキング、「東海道からウツクシマツ自生地を歩くコース」推奨や地元のイベントの実施等、ハイキングや日常のウォーキングなど犬などのペットの同伴も含めて、余暇の楽しみや健康づくりのため、自生地周辺を歩いていただく等、市内外の人々に、ウツクシマツの理解を得、自生地周辺が憩いの場となるよう、努めてまいります。



一般質問



消防力の向上について!!



会派 きずな ● 堀田 繁樹 議員

常備消防の現状

問 湖南中央消防署の概要について

答 庁舎は昭和55年（1980年）に建設され、築後44年が経過、老朽化や耐震性能や訓練施設の不足、執務スペース不足などが課題となっています。

職員は1日9名体制で配備車両は救急車・救助工作車・はしご車など6台を備えています。

問 石部分署の概要は

答 庁舎は平成17年（2005年）に建設され、新耐震基準の建物で、1日5名の勤務体制です。

問 令和6年の救急車等の出動件数と現場到着平均時間について

答 湖南中央消防署は救急1352件、火災16件、救助31件等合計1484件です。現場到着時間は湖南中央消防署は約7分です。

問 湖南中央消防署移転計画について

答 「市民の命と暮らしを守る拠点」として新たな消防署の整備を進めていくものです。

問 常備消防力の適正配置について

答 甲賀広域消防本部令和7年3月策定の整備基本計画では「現庁舎」「にぎり池」「岩根地区農地」を比較検討の結果、「岩根地区の農地」が望ましいとされました。

問 整備規模について

答 敷地8800㎡、延床1800㎡で計画。現庁舎の3倍です。

問 地元説明会開催は

答 6月に実施、サイレン音やドクターヘリ離着陸への不安などの意見があり、再度説明会を実施予定です。



美しく活気ある安全な街を!



無会派 ● 小林 義典 議員

石部駅南側周辺整備について!

問 着工はいつからと考えているのか?

答 今年度に都市再生整備計画を策定し、国の事業採択が得られれば令和8年度から5年の歳月をかけて開発します。

問 石部駅前広場周辺整備工事に伴い、市街化など趣を醸し出すような「カフェ コンビニ 居酒屋」などを設置する予定は無いのか?

答 都市再生整備計画における石部駅南側の周辺整備では、イベント用のスペースを確保していますが、「カフェやコンビニ、居酒屋」といった商業用地は確保しておりません。

参議院選挙を受けて選挙制度について

問 投票率は、全体で59.51%であったが、

評価は、また年代別の投票率は示せるか、そして投票率を上げる手立てはあるのか?

答 令和4年の参議院議員通常選挙より6.5ポイント上昇しました。年代別の投票率について分析すると20代を中心とする若年層の投票率が低く課題があると考えます。投票率を上げる手立てについてはSNSなどのウェブ媒体を用いた啓発活動に取り組んでいきます。

戦後80年を迎えて

問 戦争の記憶と教訓の継承について

答 平和の尊さを実感できる学習の充実を図ることが重要であると考えます。小中学校では戦争の悲惨さやそこから得られる教訓を学ぶことで、命の大切さや人権尊重の意識を深めております。

一般質問



公共施設予約方法、 公園整備について



日本共産党湖南市議員団 ● 川波 忠臣 議員

公共施設の予約方法について

問 申込受付期間を設け、同一枠に重複申込があった場合は抽選により利用者を決定する等、深夜の予約競争の改善について。

答 公共施設予約システムの抽選機能の活用等、市民の多様な生活スタイルに配慮した、より公平で負担の少ない予約方法の検討を行い、改善を図ります。

問 使用料の支払いは利用日前の一定期限までに求められています。支払いを早めに行うと、キャンセルの際に返金されないことから、ぎりぎりに支払おうとし、支払い忘れなどが生じます。この対策について。

答 利用者や施設職員の負担軽減とトラブル予防の観点から、公共施設予約システムの事

業者へ機能改善の要望を行います。

公園整備について

問 菩提寺公園の今後の方針について。

答 具体的な整備方針やスケジュール等は決まっていません。まずは、地元の皆様、様々な団体様とのご意見も伺いながら、熟度性を高めてまいります。

問 「暗くて人気がないため、子どもだけを遊ばせておくには不安が残る」という声があります。子どもたちが安心して安全に遊べるような公園にしていこうことが必要です。照明を設置するなど何らかの対策について。

答 子どもたちが安心して遊べる、使われ活きる公園となるよう取り組んでまいります。

その他、多文化共生について質問しました。



墓じまいについて



無会派 ● 松原 栄樹 議員

墓じまいについて

問 全国的に墓じまいが進んでいますが、寺院の管理ではなく市営の墓地における墓じまいについて、区画の使用契約者以外の親族等「縁故者」の情報等の把握は。

答 市営墓地では、住所変更や納骨の際に、また、使用者が亡くなった時など親族による継承の手続など各種手続が必要です。そんな中、年間10件程墓じまいをされ、墓地を返還される方があります。使用者の情報は得ていますが、親族等の情報は得ていません。墓苑の日常の管理状況は、平成28年度以降に毎年管理料を徴収して状況確認をしています。

問 墓じまいをされる場合の手続について。

答 他のお墓や民間等の合葬式墓地への移転・改葬をするにあつ

ては、墓地返還の手続が必要です。改葬許可申請をしていただき、市が改葬許可書を発行し、その改葬許可書をもって、移転先の墓地等で納骨の手続が行われることとなります。

市の大きな財産である市職員の労働環境について

問 人材確保の観点から課題・問題点は。

答 「仕事のやりがい、成長実感の不足」や「ワークライフバランス」の課題が挙げられ、やりがいを持って働ける環境づくりと力を発揮できる仕組みづくりが必要と考えます。

問 県内他市の先進的な取組を検証しているのか。

答 時間外勤務の上限設定や、勤務終了時のPC自動シャットダウン等を導入して改善を進めています。

議 会 日 誌

- 【7月】** 1日—決算常任委員会
2日—議会運営委員会
4日—広報広聴常任委員会協議会
7日—福祉教育常任委員会
10日—広報広聴常任委員会協議会
16日—議会改革推進特別委員会
23日—広報広聴常任委員会
30日—庁舎整備検討特別委員会
- 【8月】** 6日—会派制議会運営検討特別委員会
7日—議会運営委員会行政視察
8日—議会運営委員会行政視察
12日—産業経済常任委員会
広報広聴常任委員会
19日—議員全員協議会
21日—議会運営委員会
25日—議員全員協議会
本会議[定例会(1日目)]
議会改革推進特別委員会
- 【9月】** 1日—本会議[定例会(2日目)]
2日—本会議[定例会(3日目)]
議会運営委員会
議員全員協議会
3日—本会議[定例会(4日目)]
4日—予算常任委員会
総務常任委員会
福祉教育常任委員会
産業経済常任委員会
5日—決算常任委員会
8日—決算常任委員会
9日—決算常任委員会
10日—決算常任委員会
11日—庁舎整備検討特別委員会
16日—広報広聴常任委員会
広報広聴常任委員会協議会
18日—本会議[定例会(5日目)]
議会運営委員会
議員全員協議会
決算常任委員会
22日—決算常任委員会
24日—広報広聴常任委員会協議会
25日—甲賀広域行政組合議会定例会

令和7年12月議会定例会の 仮日程をお知らせします

開会 11月28日(金) 閉会 12月18日(木)

<仮日程>

11月28日(金)	■本会議 提案説明	12月10日(水)~15日(月)	●委員会
12月 5日(金)	■本会議 一般質問	12月18日(木)	■本会議
12月 8日(月)	■本会議 一般質問		委員長報告
12月 9日(火)	■本会議 一般質問		採決

◇傍聴席では…

議場は、市政全般にわたる重要な事項を決定する場です。係員(議会事務局職員)の指示に従って、静粛に傍聴することになっています。

◇傍聴の申し込みは…

会議が開かれる当日に来ていただき、「議会傍聴受付書」に住所・氏名を記入してください。座席数に限りがありますので、団体での傍聴は事前に議事課へご連絡ください。※事情により日程が変更になることがあります。詳しくは、11月中旬ごろに議事課 ☎ 0748-71-2347 へお問い合わせください。

編 集 後 記 新型コロナウイルスの影響を受けた時期から、議会は子どもたちへの開放を着実に進めてきました。その取組の成果として、現在では子ども議場見学の開催や中学生サミットなど、子どもたち自身による政策提案や意見交換、地域の課題解決に向けた提言といった活動が以前にも増して活発になっています。これは湖南市にとっても大きな変革であり、将来を担う子どもたちに政治や行政に触れる貴重な体験を提供することは、かけがえのない財産です。今後もこうした取り組みをさらに大切にしていきたいと思ひます。

川波忠臣

<広報広聴常任委員会>

奥村幹郎委員長 永田誠治副委員長 中土翔太委員
副田悦子委員 川波忠臣委員 曾我部一帆委員